



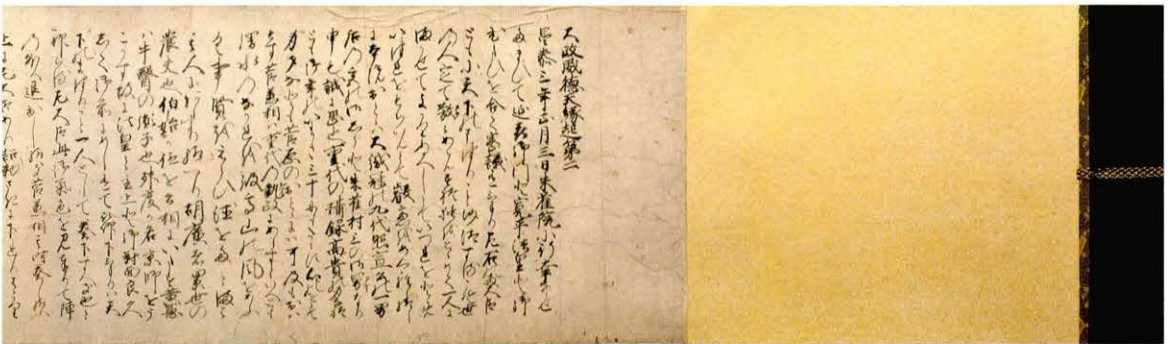
1-1. 大政威德天綠起繪卷 修理前 (ギメ東洋美術館)  
Daijō-itokuten Engi Emaki (Legends of Kitano Tenjin Shrine) <Before Treatment>  
(Musée national des Arts asiatiques, Guimet)



2-1. 修理後  
<After Treatment>



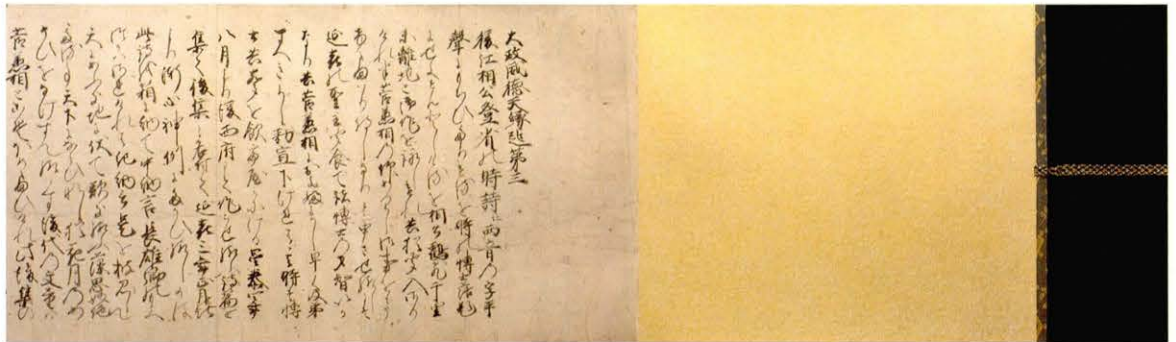
1-2.



2-2.



1-3.



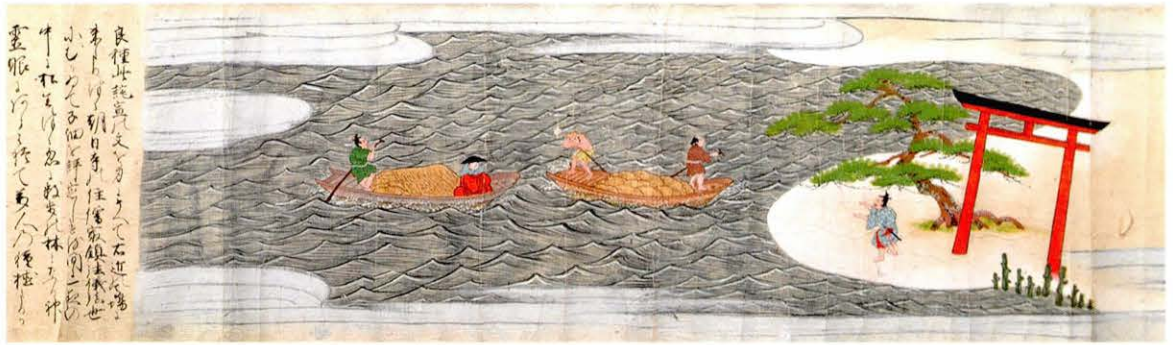
2-3.



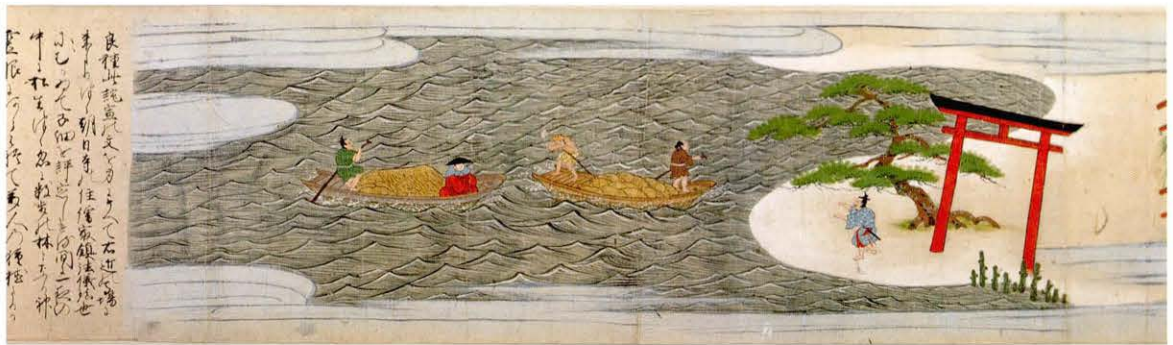
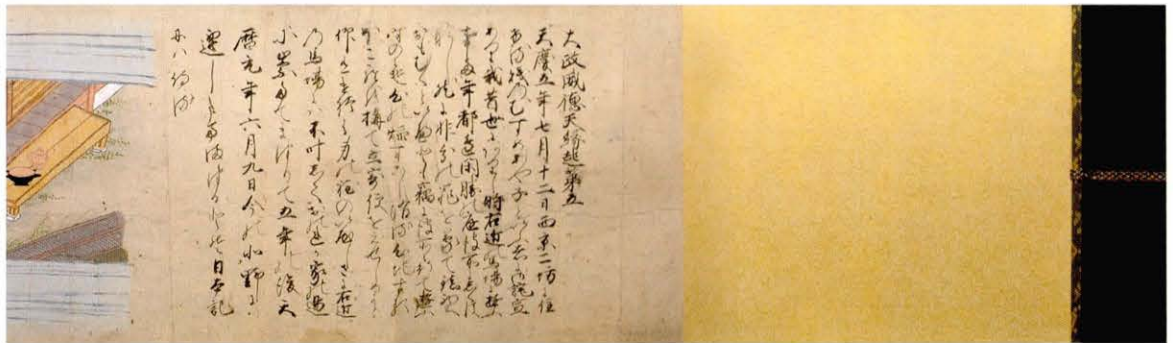
1-4.



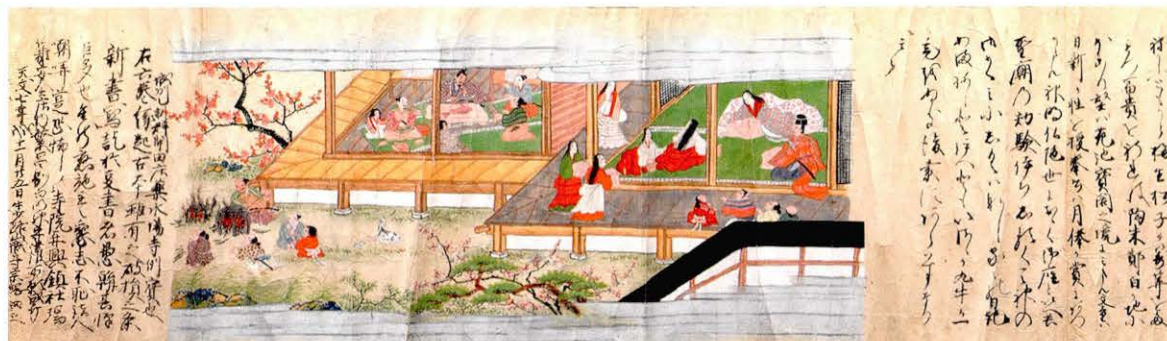
2-4.



1-5.



2-5.



1-6.



2-6.

---

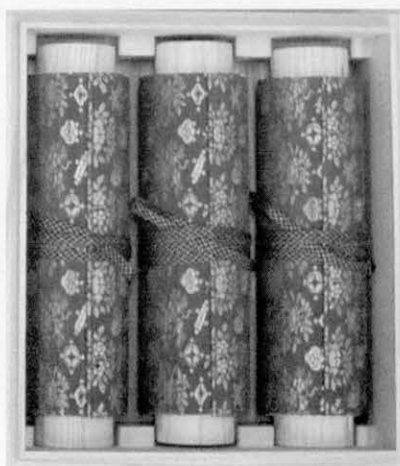
---

# 大政威徳天縁起絵巻

---

---

平成16・17年度修復事業



品名：大政威徳天縁起絵巻  
所蔵：ギメ東洋美術館

大政威徳天緑起絵巻

# 修理報告

(有)山口墨仁堂  
山口聡太郎

## I. 文化財の名称等

1. 名 称 大政威徳天緑起絵巻 6巻
2. 所 蔵 者 ギメ東洋美術館
3. 所 蔵 番 号 MG8631～8636

## II. 工期等

1. 工 期 平成16・17年度
2. 施行場所 静岡県焼津市栄町5丁目8-5  
有限会社 山口墨仁堂

## III. 文化財の構造

### 1. 本紙寸法

〔本誌寸法 修理前後比較一覧表〕参照

### 2. 本紙紙質 (本紙裏面2カ所より繊維を極少量採取して、繊維分析をおこなった。)

第1巻第9紙：吸水はゆっくりである。レチングされた楮に多量の澱粉を加えて漉いた。

第3巻第17紙：吸水は早い。太い繊維が多い楮に微量の炭酸カルシウムと多量の澱粉を加えて漉いた。C染色液染でレチングした楮は淡い炭灰色に染まっている。

2紙とも繊維分散が不十分である。

### 3. 表装

修理前

- a. 形式 卷子装
- b. 表装裂地

表紙：萌黄地宝尽文緞子 見返し：金箔平押紙 軸首：黒漆塗頭切軸  
紐：紺色無地組紐 箱：なし

修理後

- a. 形式 卷子装
- b. 表装裂地

表紙：萌黄地宝尽文金欄 (新調) 見返し：金砂子蒔紙 (新調)  
軸首：黒漆塗頭切軸 (新調) 紐：四色格子柄一枚高麗組 (新調)



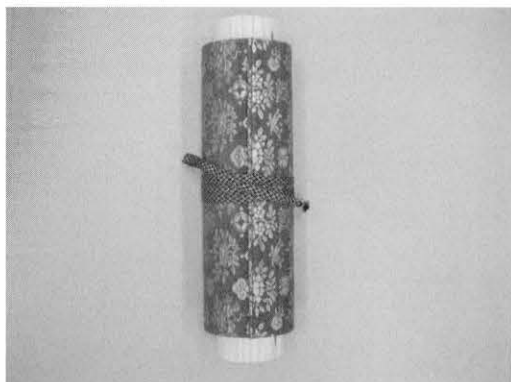


図1 修理後  
Fig. 1: After treatment.

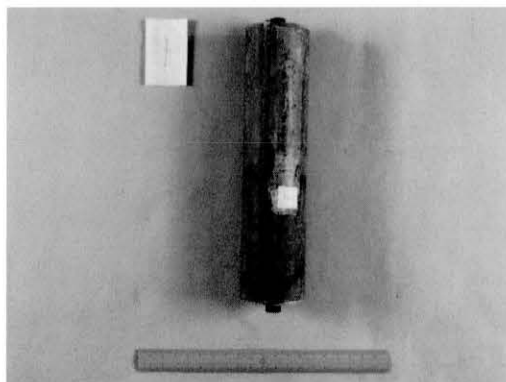


図2 修理前  
Fig. 2: Before treatment.

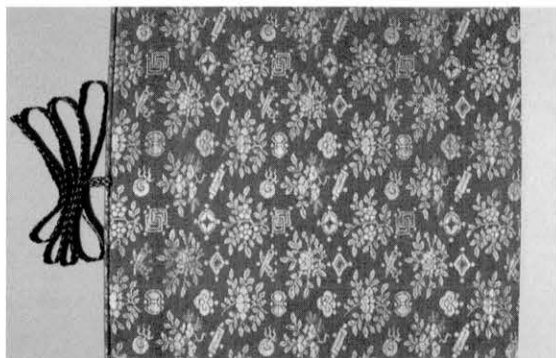


図3 修理後  
Fig. 3: After treatment.

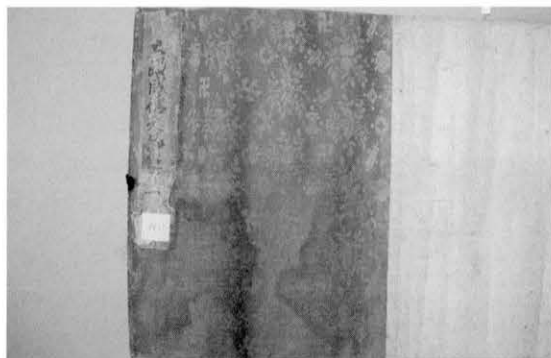


図4 修理前  
Fig. 4: Before treatment.

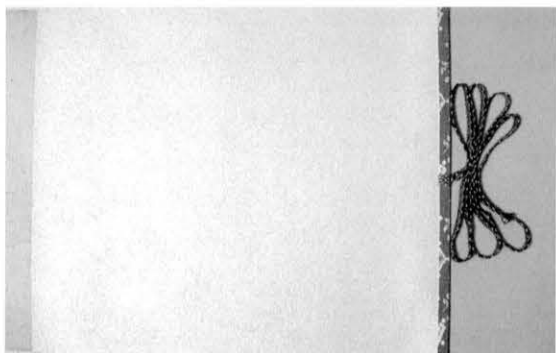


図5 修理後  
Fig. 5: After treatment.

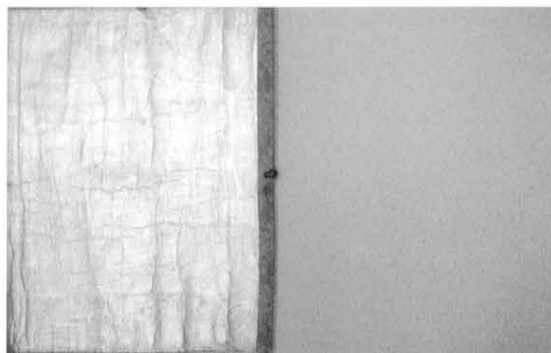


図6 修理前  
Fig. 6: Before treatment.

本紙寸法 修理前後比較一覽表 (cm)

	第1卷 横寸法	
	修理前	修理後
第1紙	39.4	40.0
第2紙	40.4	41.2
第3紙	40.4	41.2
第4紙	40.3	41.0
第5紙	40.2	41.0
第6紙	40.3	40.9
第7紙	40.1	40.9
第8紙	40.3	41.0
第9紙	40.3	41.1
第10紙	40.1	41.3
第11紙	40.3	41.1
第12紙	40.4	41.1
第13紙	40.0	40.9
第14紙	40.2	40.9
第15紙	40.3	41.1
第16紙	40.1	41.1
第17紙	40.3	41.1
第18紙	40.2	41.0
第19紙	40.2	41.0
第20紙	40.0	41.1
第21紙	39.6	40.4
第22紙	33.3	34.0
第23紙	40.0	40.9

縦寸法	31.3	32.6
-----	------	------

	第2卷 横寸法	
	修理前	修理後
第1紙	39.1	39.7
第2紙	39.1	40.0
第3紙	29.8	30.0
第4紙	39.9	40.7
第5紙	39.7	40.5
第6紙	39.8	40.6
第7紙	40.0	40.8
第8紙	40.0	40.6
第9紙	40.0	40.5
第10紙	39.9	40.6
第11紙	39.7	40.5
第12紙	39.7	40.5
第13紙	39.8	40.7
第14紙	39.7	40.7
第15紙	39.8	40.7
第16紙	39.7	40.5
第17紙	39.8	40.6
第18紙	39.9	40.7
第19紙	39.9	40.8
第20紙	39.9	41.0
第21紙	39.7	40.7
第22紙	39.7	40.7
第23紙	40.0	40.7
第24紙	39.6	40.7
第25紙	39.8	40.9
第26紙	39.6	40.5
第27紙	39.5	40.6
第28紙	37.1	40.1

縦寸法	31.1	32.6
-----	------	------

	第3卷 横寸法	
	修理前	修理後
第1紙	25.2	25.9
第2紙	39.7	40.8
第3紙	39.9	40.8
第4紙	39.9	40.9
第5紙	39.9	40.8
第6紙	39.9	40.9
第7紙	39.9	41.0
第8紙	39.9	40.8
第9紙	39.9	41.0
第10紙	40.2	40.9
第11紙	39.8	40.9
第12紙	40.0	40.9
第13紙	40.1	40.9
第14紙	40.0	40.9
第15紙	39.7	40.8
第16紙	39.7	40.8
第17紙	39.9	40.9
第18紙	39.7	41.0
第19紙	39.8	40.9
第20紙	39.5	41.0
第21紙	40.0	40.9
第22紙	39.0	41.0
第23紙	39.2	41.0
第24紙	39.2	41.0
第25紙	39.9	41.0
第26紙	26.6	33.3

縦寸法	31.4	32.6
-----	------	------

本紙寸法 修理前後比較一覽表 (cm)

	第 4 卷 横寸法	
	修理前	修理後
第 1 紙	39.2	39.9
第 2 紙	40.1	40.7
第 3 紙	40.2	40.8
第 4 紙	40.1	40.7
第 5 紙	40.0	40.8
第 6 紙	40.1	40.9
第 7 紙	40.1	40.7
第 8 紙	39.9	40.6
第 9 紙	40.0	40.4
第10紙	39.9	40.9
第11紙	39.9	40.9
第12紙	40.0	40.7
第13紙	39.9	40.6
第14紙	40.2	40.8
第15紙	39.8	40.6
第16紙	39.9	40.9
第17紙	40.1	40.7
第18紙	40.2	41.0
第19紙	39.8	40.7
第20紙	40.0	40.6
縦寸法	31.4	32.6

	第 5 卷 横寸法	
	修理前	修理後
第 1 紙	27.0	27.5
第 2 紙	40.1	40.9
第 3 紙	40.1	40.8
第 4 紙	40.3	41.0
第 5 紙	40.1	41.0
第 6 紙	40.3	40.9
第 7 紙	40.2	41.0
第 8 紙	40.2	41.1
第 9 紙	40.4	41.0
第10紙	40.5	40.9
第11紙	40.0	40.9
第12紙	40.5	41.0
第13紙	40.5	41.0
第14紙	40.1	41.0
第15紙	40.0	40.9
第16紙	39.9	40.9
第17紙	39.8	41.0
第18紙	40.1	41.0
第19紙	40.0	41.0
第20紙	40.1	40.9
第21紙	39.9	40.8
第22紙	40.4	40.8
第23紙	40.4	40.8
第24紙	40.2	41.0
第25紙	40.1	41.0
第26紙	40.3	41.2
第27紙	39.6	40.4
縦寸法	31.5	32.6

	第 6 卷 横寸法	
	修理前	修理後
第 1 紙	27.4	28.1
第 2 紙	39.7	41.1
第 3 紙	39.4	40.8
第 4 紙	39.5	40.7
第 5 紙	40.0	40.7
第 6 紙	39.9	40.8
第 7 紙	39.6	40.7
第 8 紙	39.4	40.7
第 9 紙	39.9	40.7
第10紙	39.8	40.7
第11紙	39.9	41.0
第12紙	39.9	40.9
第13紙	39.8	40.9
第14紙	18.9	20.4
第15紙	9.9	10.2
第16紙	39.9	40.9
第17紙	39.9	40.9
第18紙	39.9	40.9
第19紙	40.0	40.9
第20紙	40.0	41.0
第21紙	39.9	40.9
第22紙	38.8	40.9
第23紙	39.7	41.0
第24紙	39.9	41.0
第25紙	39.4	40.6
第26紙	39.9	40.9
第27紙	38.8	40.5
第28紙	38.8	40.7
第29紙	39.5	40.9
第30紙	18.3	25.9

縦寸法	31.0	32.6
-----	------	------

箱：中箱、二段重桐屋郎箱太巻添軸付（新調）  
外箱、黒漆塗台指箱（新調）

#### IV. 修理前の状況

巻頭から巻末まで通して、非常に強い縦折れが無数に発生していた。特に巻末に多く、折山の頂点部分では絵具が擦れて剥落していた。絵具の状態は全体的には安定していたが、胡粉など厚塗りされた部分では、本紙料紙の巻き皺や縦折れにともなって、ひび割れや薄片化が見られる箇所があった。1枚の裏打ち紙で全体が裏打ちされていたが、糊の劣化が進んでいたために広範囲に渡って剥離が起きていた。また、本紙継ぎ手も糊の劣化によって剥離しているところがあった。表紙裂と見返し紙も剥離していた。

卷子天地には手摺れや虫損などによって、小さな破れや欠損が見られた。

裏打紙には、表面から移った絵具片が付着していた。

紐は、途中で切れたり欠失したりしていた。

軸首は漆が剥落していた。

表紙に貼られた題箋は、破れや虫損などにより著しく傷んでいた。

箱が無かった。

#### V. 修理概要

##### 1. 修理方針

本紙料紙が厚く堅い紙であるために、縦折れや巻き皺が発生しやすく、また強い折れになっていた。そしてそれが、絵具の摺れや剥落につながっていた。そのため、本紙の縦折れを伸ばし、しなやかに巻くことができるようにするのが、今回の修理の一番のポイントであった。

本紙が厚いために折山の折れ曲がる力が強いことから、折れ伏せは、美濃紙1.5mm巾のものと3mm巾のものを2度入れて、強固に補強することとした。ただ、厚みが大きく増してしまうことのないよう、使用する美濃紙は極薄いものを使用した。

修理後にしなやかな仕上がりにするため、裏打にもごく薄い美濃紙と美栖紙を使用して3度裏打ちをすることとした。

巻子の継ぎ手を外すにあたり、絵画部分の継ぎ手の上には絵具が掛かっていることから、浮きが生じている所を除いて、絵画部分の継ぎ手は外さず文字部分の継ぎのみを外すことにした。

2%の兎膠水溶液にて絵具の剥落止めを全体に1度、部分的にもう1度行った。絵具層にひび割れや薄片化が生じている箇所には、撮影前に、布海苔と兎膠水溶液の混合液で固着させることとした。

旧裏打紙に付着していた絵具片は、本紙から剥離したものであることが判明したため、元の場所に戻した。

卷子天地には、保護のためと巻子の曲がり直すために足し紙を付けることとした。またそのために天地寸法が長くなるので、表紙裂、見返し紙は新調することにした。

##### 2. 修理仕様

- ・剥落の危険性が高いひび割れや薄片化が生じている絵具部分には、布海苔と膠の混合液を注入し剥落止めを行う。
- ・通常の写真撮影のほかに、絵具粒子の顕微鏡写真、本紙透過写真、赤外写真を撮影する。

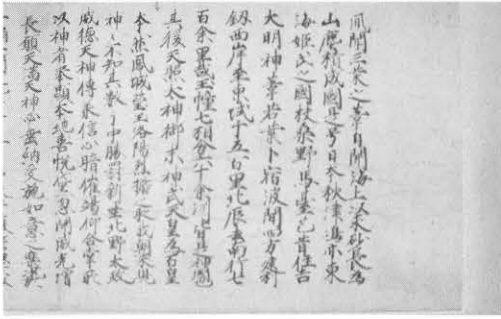


図7 修理後  
Fig. 7: After treatment.

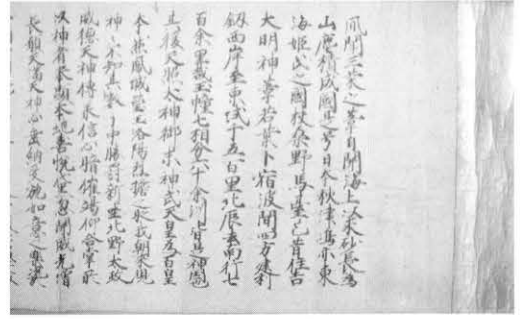


図8 修理前  
Fig. 8: Before treatment.



図9 修理後  
Fig. 9: After treatment.



図10 修理前  
Fig. 10: Before treatment.



図11 修理後  
Fig. 11: After treatment.



図12 修理前  
Fig. 12: Before treatment.

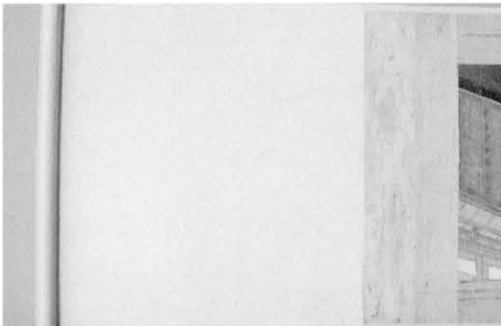


図13 修理後  
Fig. 13: After treatment.

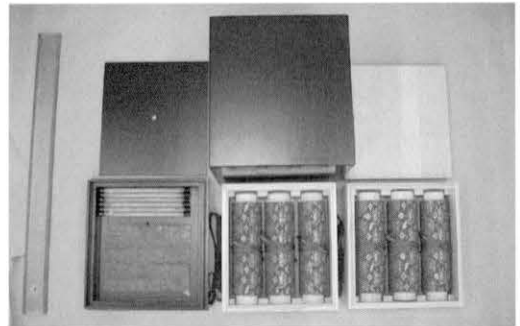


図14 修理後  
Fig. 14: After treatment.

- ・ 絵具の発色が修理前後で変わることが無いよう、チェックするため、分光測色計にて修理前の色を計測する。計測結果については担当者に報告をする。
- ・ 採寸及び損傷等の調査を行い、現状を記録する。
- ・ 修理工程において使用する水に絵具層が耐え得るか、少量の水で絵具の変化を事前に見る。
- ・ 絵具層を固着するため、兎膠水溶液にて剥落止めを行う。絵具が厚く塗られているところが多いので、素早く浸透するようサクシオンテーブルを用いて下側から吸引しながら膠を塗布する。
- ・ 全体的に糊が劣化しているため、原則として旧裏打紙は乾燥したままの状態除去する。
- ・ 浮きが生じている所を除いて、絵画部分の継ぎ手は外さず文字部分の継ぎのみを外す。
- ・ 紙質検査を行い本紙の紙質を特定する。またそれに基づいて補修紙、足し紙を選定する。
- ・ 新しく天地に足し紙をする。本紙自体が天地に大きく曲がっているため、足し紙の幅は場所に応じて平行になるように切りそろえる。
- ・ 肌裏紙にはごく薄い美濃紙、増裏紙にはごく薄い美栖紙、総裏紙にはごく薄い美濃紙を用いる。
- ・ 縦折れ箇所には、増裏打後に折れ伏せを入れて補強する。縦折れが非常に強力なことから、美濃紙1.5mm巾のものと3mm巾のものを2度入れて、強固に補強することにする。
- ・ 補紙、足し紙部分はトーニングを行う。
- ・ 表紙裂、見返紙、軸首、紐は担当者と協議して、新調する。
- ・ 軸木、八双を新調する。
- ・ 中箱として桐太巻添軸付二段重屋郎箱を新調する。外箱として黒漆塗台指箱を新調する。旧軸木、表紙、裏打紙などは整理してまとめ、台指箱の底に納入する。
- ・ 修理後の完成品について旧状との比較が行える写真撮影を行う。
- ・ 修理後に使用した紙、絹、表具裂、紐等のサンプルを提出する。

### 3. 修理工程

1. 修理前に写真撮影をした。
2. 浮き上がっている絵具を応急的に布海苔と兎膠水溶液の混合液をさして止めた。
3. 本紙の損傷状況が一覧できる損傷地図を作成した。特に折れの状態を細かく記録した。
4. 軸木と表紙を取り外した。
5. 本紙の継ぎ手を外した。
6. 分光測色計を用いて、本紙の色を計測した。
7. 顕微鏡写真撮影を行って絵具の状態を記録した。
8. 乾燥状態のまま裏打紙を除去した。
9. 兎膠水溶液にて絵具の剥落止めをした。その際素早く浸透するようサクシオンテーブルを用いて下側から吸引しながら膠を塗布した。
10. 本紙欠損箇所と同形に整形した補修紙を欠損箇所に添付した。また、天地に足し紙をした。
11. 矢車染の極薄美濃紙を用いて、新糊にて本紙の肌裏打ちをした。
12. 本紙を無染の極薄美栖紙で、古糊を用いて増裏打ちをした。
13. 本紙の縦折れ箇所に極薄美濃紙巾1.5mmの折れ伏せを入れた。
14. 乾燥後、さらに重ねて極薄美濃紙巾3mmの折れ伏せを入れて強固なものにした。
15. 付廻しをし、ある程度の長さまで本紙を継いだ。
16. 矢車染の極薄美濃紙にて古糊を用いて総裏打ちをした。

17. 表仮貼りして、乾燥させた。
18. 補修部分と足し紙にトーニングを行った。
19. 裏仮貼りしさらに長時間乾燥させた。
20. 表紙裂、見返し紙を新調し表紙を製作した。
21. 軸首、軸木、八双、紐を新調して仕上げをした。
22. 桐太巻添軸付二段重屋郎箱、黒漆塗台指箱、羽二重包裂を新調し箱底に納入した。
23. 旧表紙題箋を取り外し、修理して裏打し中性紙台紙貼りにした。
24. 旧表紙、軸、裏打紙などを整理してまとめ、黒漆塗台指箱の底に納入した。
25. 修理後に写真撮影を行った。

4. 各工程における材料使用法

名 称		材 料	使 用 法
本 紙	肌裏紙	美濃紙	矢車染、媒染、水洗いした 厚0.05mm
		新糊	水：新糊=19：10 PH 6～7
	増裏紙	美栖紙	厚0.07mm
		古糊	粘度18.2mpa.S PH 6～7 水替5回
	補修紙 足し紙 軸巻紙	楮紙	矢車染、媒染、水洗いした 厚0.19mm
		布海苔、新糊	布海苔：新糊=1：1
	総裏紙	美濃紙	矢車染、媒染、水洗いした 厚0.05mm
		古糊	粘度20.2mpa.S PH 6～7 水替5回
	折れ伏せ紙	美濃紙	矢車染、媒染、水洗いした 厚0.06mm 巾1.5mm
		美濃紙	矢車染、媒染、水洗いした 厚0.06mm 巾3mm
		新糊	水：新糊=1：1 粘度2.0pa.S PH 6～7

名 称	材 料	使 用 法
表紙裂	萌黄地宝尽文金襴	矢車染 媒染 水洗い
見返し紙	金砂子蒔紙	美濃紙に三千本膠で金砂子を蒔いた
組紐	四色格子柄一枚高麗組	

## 5. 使用材料

材 料	種 別	製造元および販売元	
紙	美濃紙	岐阜県美濃	
	美栖紙	奈良県吉野	
糊	小麦粉澱粉	長田産業株式会社製	700gの小麦粉澱粉糊を2ℓの水に溶かし、強火で20分間焚く。一晚冷ましてから使用する。
	古 糊	自家製	焚いた小麦粉澱粉糊を瓶に入れて蓋をし、緑の下で保存する。 平成7年物。
	布海苔	韓国製	布海苔7gを水洗いして塩抜きし、700ccの水を加えて、布海苔が溶けるまで約15分間加熱する。その後二重ガーゼで濾過して、冷却する。
補彩用絵具	藍棒、洋紅 藤黄	京都	
補彩用絵具	墨	奈良	
染料	矢車	京都	
金襴		京都	萌黄地宝尽文金襴
軸木		京都	軸径18mm
軸首		京都	黒漆塗頭切軸 修理前の形状を模して新調した。
紐		東京 道明製	四色格子柄一枚高麗組
箱		京都 前田製	二段重桐屋郎箱太巻添軸付

## VI. 特記事項

1. 軸首、軸木を新調した。
2. 第1紙目裏面に文字があった(第1巻・第2巻・第4巻)
3. 本紙紙質について

本紙裏面2カ所より繊維を極少量採取して、繊維分析をおこなった。

第1巻第9紙：吸水はゆっくりである。レチングされた楮に多量の澱粉を加えて漉いた。

第3巻第17紙：吸水は早い。太い繊維が多い楮に微量の炭酸カルシウムと多量の澱粉を加えて漉いた。

C染色液染でレチングした楮は淡い炭灰色に染まっている。

2紙とも繊維分散が不十分である。



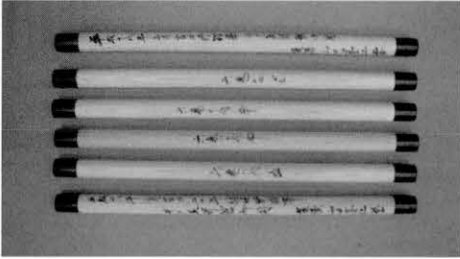


図15 新軸木の墨書  
Fig. 15: Inscription in *sumi* ink on the new wooden rollers.

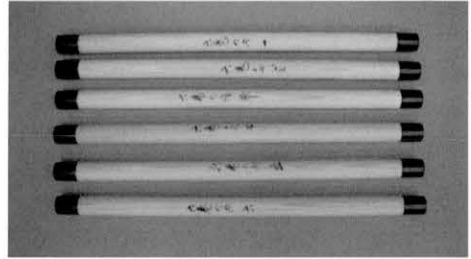


図16 新軸木の墨書  
Fig. 16: Inscription in *sumi* ink on the new wooden rollers.

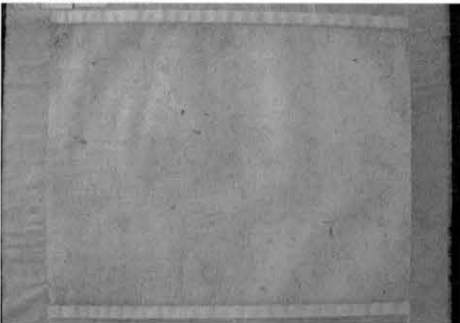


図17 第1巻第1紙裏面の文字  
Fig. 17: Writing on the back side of the first sheet of the first scroll.

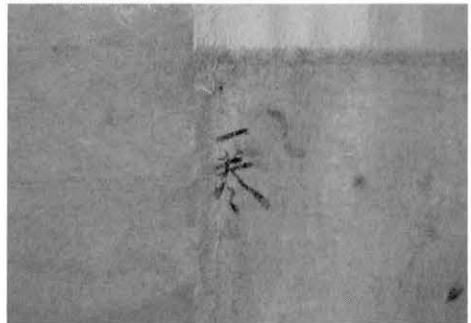


図18 第1巻第1紙裏面の文字  
Fig. 18: Writing on the back side of the first sheet of the first scroll.

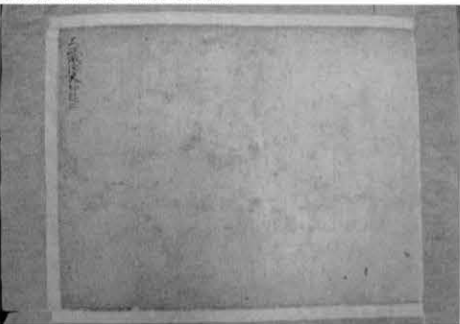


図19 第2巻第1紙裏面の文字  
Fig. 19: Writing on the back side of the first sheet of the second scroll.

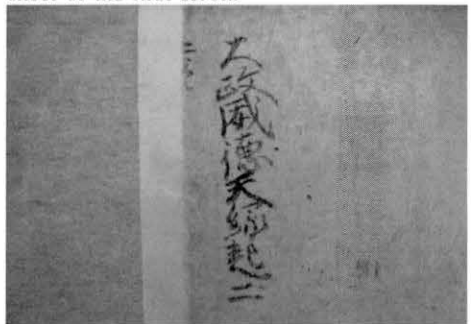


図20 第2巻第1紙裏面の文字  
Fig. 20: Writing on the back side of the first sheet of the second scroll.

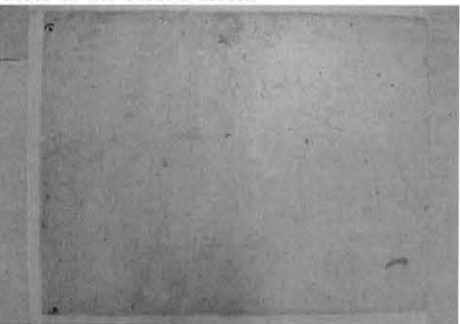


図21 第4巻第1紙裏面の文字  
Fig. 21: Writing on the back side of the first sheet of the fourth scroll.

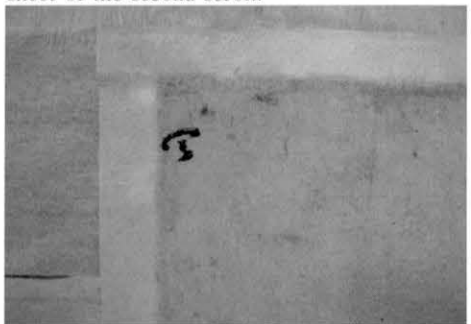


図22 第4巻第1紙裏面の文字  
Fig. 22: Writing on the back side of the first sheet of the first scroll.

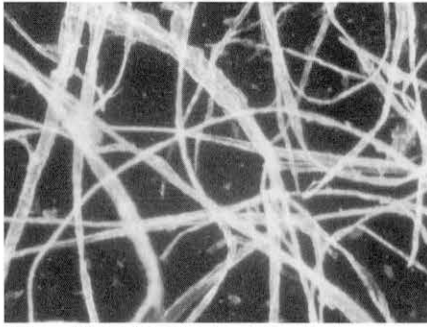


図23 第1巻第9紙目の繊維 100倍  
Fig. 23: Fiber in the ninth sheet of the first scroll, magnified 100 times.

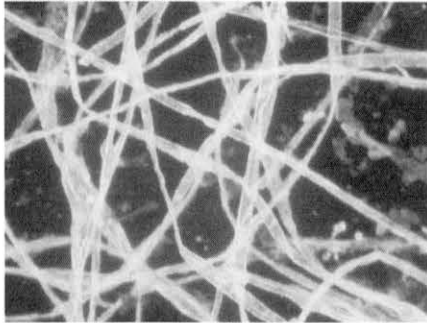


図25 第3巻第17紙目の繊維 100倍  
Fig. 25: Fiber in the 17th sheet of the third scroll, magnified 100 times.

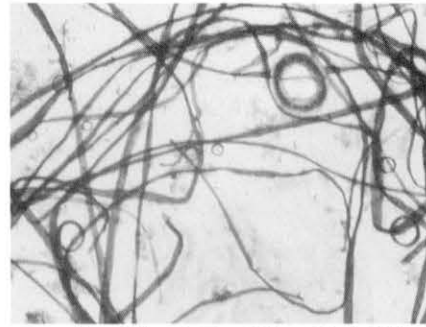


図24 第1巻第9紙目の繊維 C染色液染め  
Fig. 24: Fiber of the ninth sheet of the first scroll, C-stain solution.

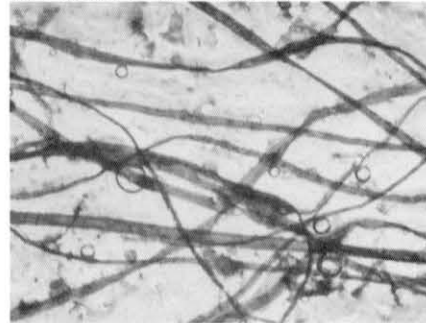


図26 第3巻第17紙目の繊維 C染色液染め  
Fig. 26: Fiber of the 17th sheet of the third scroll, C-stain solution.

#### 紙質データ

	2巻第1紙	4巻第15紙	補修紙
寸法 (cm)	縦31.2×横40.1	縦31.6×横40.5	縦32.5×横47.5
厚み (cm)	0.026	0.027	0.023
重さ (g)	13.19	16.69	15.20
密度 (g/cm <sup>3</sup> )	0.405	0.483	0.428
簀の目 (cm)	4.5	4.5	不明
糸目 (本/寸)	13本/寸	13本/寸	不明

#### 4. 折れ伏せについて

強い縦折れを伸ばすために、裏面から太細2種的美濃紙の帯を貼り重ねて折れ伏せとした。

#### 5. 裏打紙に本紙片が付着していた。

#### 6. 旧表紙題箋

補修して裏打を行い、中性紙台紙に貼り込んだ。

(本報告書では、修理前後の色計測結果比較表を割愛した。)



図27 第3巻第19紙 裏打紙に本紙片が付着していた  
Fig. 27: Flakes of pigment from the painting were found attached to the back lining.



図28 該当個所に貼り戻した  
Fig. 28: They were reattached to the appropriate areas.



図29 第2巻第8紙 裏打紙に本紙片が付着していた  
Fig. 29: Eighth sheet of the second scroll. Flakes of pigment from the painting were found attached to the back lining.



図30 該当個所に貼り戻した  
Fig. 30: They were reattached to the appropriate areas.

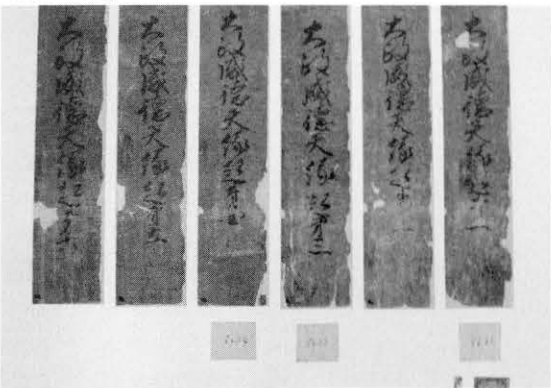


図31 旧表紙題箋  
Fig. 31: Labels from the old covers.

*Daijō-itokuten Engi Emaki*

## Conservation Treatment Report

Sōtaro Yamaguchi  
Yamaguchi Bokunindo Co., Ltd.

### I. Description and title of object

1. Title, number of objects: *Daijō-itokuten Engi* Set of six hand scrolls
2. Collection: Musée National des Arts Asiatiques-Guimet (The Guimet Museum), Paris
3. Collection number: MG8631-8636

### II. Treatment period, etc.

1. Treatment period: FY 2004 and 2005
2. Location: Yamaguchi Bokunindo Co., Ltd.  
5-8-5 Sakae-machi, Yaizu-shi, Shizuoka

### III. Structure of the cultural property

1. Dimensions: See chart; Painting dimensions before and after treatment.
2. Paper quality of the painting: A small sample of fiber was taken from two locations on the verso and analyzed.

First scroll, ninth sheet: Water is absorbed slowly. Paper was made by adding a large amount of starch to retted *kōzo*.

Third scroll, 17th sheet: Water is absorbed quickly. Paper was made by adding a small amount of calcium carbonate and a large quantity of starch to coarse *kōzo* fiber. The retted *kōzo* fiber was stained with C-stain solution and yielded a light grey color. Fiber distribution is poor in both papers.

### 3. Mounting

Before treatment

a. Format: Hand scroll

b. Materials used for mounting

Cover: *Donsu* (damask weave silk) with *takara-zukushi* (treasure-filled) pattern on a yellow-green background

End paper: Paper pressed with gold leaf

Roller knobs: Cylindrically-cut, black lacquered knobs

Cord: Plain navy blue braided cord

Box: None

After treatment

a. Format: Hand scroll

b. Materials used for mounting

Cover: Gold brocade with *takara-zukushi* (treasure-filled) pattern on a yellow-green background (new)

End paper: Paper sprinkled with gold leaf (new)

Roller knobs: Cylindrically-cut, black lacquered knobs (new)

Cord: Four-colored, grid-patterned, one-layered *kōrai* braid (new)

Box:

Inner box—Two-layered paulownia storage box with roller clamp (new)

Outer box—Black lacquered *daizashi* box (new)

#### IV. Condition before treatment

Many severe, vertical creases were found throughout the scrolls. The creases were especially prominent toward the end where the paint had been abraded and chipped off along the tips of the creases. While the paint was stable overall, some areas with thick application of shell white and other pigments were found to have cracked or thinned along the wrinkles and vertical creases on the support material from rolling.

While the scrolls were backed by one piece of lining paper, respectively, large areas were lifting due to deterioration of the adhesive (wheat starch paste). Further, the deterioration of the starch paste had caused some separation along the joints between the sheets. The cover material and end paper were also lifting.

Small tears and losses caused by handling and/or insect damage were found in areas along the top and bottom of the scrolls.

Pigment that had transferred from the surfaces of paintings was found on the back lining.

Some parts of the cords were torn or missing.

Lacquer on the roller knobs had chipped off.

The label pasted on the covers were torn and severely damaged by insect activity.

The scrolls did not come in a storage box.

#### IV. Outline of treatment

##### 1. Treatment plan

Because thick, stiff paper was used as material for the support, it was prone to developing severe vertical creases and wrinkles from rolling. This caused the paint to abrade or flake off. Therefore, the main focus of this treatment was to flatten out the vertical creases of the paintings and make them more supple for rolling.

Because the paintings are on thick paper, there were strong creases. Therefore, the decision was made to apply two reinforcement strips made with *Mino* paper, in 1.5 mm and 3 mm widths, to provide

Comparison of dimensions (cm) of paintings before and after treatment

	First scroll Horizontal dimensions	
	Before Treatment	After Treatment
1 st sheet	39.4	40.0
2 nd sheet	40.4	41.2
3 rd sheet	40.4	41.2
4 th sheet	40.3	41.0
5 th sheet	40.2	41.0
6 th sheet	40.3	40.9
7 th sheet	40.1	40.9
8 th sheet	40.3	41.0
9 th sheet	40.3	41.1
10th sheet	40.1	41.3
11th sheet	40.3	41.1
12th sheet	40.4	41.1
13th sheet	40.0	40.9
14th sheet	40.2	40.9
15th sheet	40.3	41.1
16th sheet	40.1	41.1
17th sheet	40.3	41.1
18th sheet	40.2	41.0
19th sheet	40.2	41.0
20th sheet	40.0	41.1
21th sheet	39.6	40.4
22th sheet	33.3	34.0
23th sheet	40.0	40.9

Vertical dimensions	31.3	32.6
---------------------	------	------

	Second scroll Horizontal dimensions	
	Before Treatment	After Treatment
1 st sheet	39.1	39.7
2 nd sheet	39.1	40.0
3 rd sheet	29.8	30.0
4 th sheet	39.9	40.7
5 th sheet	39.7	40.5
6 th sheet	39.8	40.6
7 th sheet	40.0	40.8
8 th sheet	40.0	40.6
9 th sheet	40.0	40.5
10th sheet	39.9	40.6
11th sheet	39.7	40.5
12th sheet	39.7	40.5
13th sheet	39.8	40.7
14th sheet	39.7	40.7
15th sheet	39.8	40.7
16th sheet	39.7	40.5
17th sheet	39.8	40.6
18th sheet	39.9	40.7
19th sheet	39.9	40.8
20th sheet	39.9	41.0
21th sheet	39.7	40.7
22th sheet	39.7	40.7
23th sheet	40.0	40.7
24th sheet	39.6	40.7
25th sheet	39.8	40.9
26th sheet	39.6	40.5
27th sheet	39.5	40.6
28th sheet	37.1	40.1

Vertical dimensions	31.1	32.6
---------------------	------	------

	Third scroll Horizontal dimensions	
	Before Treatment	After Treatment
1 st sheet	25.2	25.9
2 nd sheet	39.7	40.8
3 rd sheet	39.9	40.8
4 th sheet	39.9	40.9
5 th sheet	39.9	40.8
6 th sheet	39.9	40.9
7 th sheet	39.9	41.0
8 th sheet	39.9	40.8
9 th sheet	39.9	41.0
10th sheet	40.2	40.9
11th sheet	39.8	40.9
12th sheet	40.0	40.9
13th sheet	40.1	40.9
14th sheet	40.0	40.9
15th sheet	39.7	40.8
16th sheet	39.7	40.8
17th sheet	39.9	40.9
18th sheet	39.7	41.0
19th sheet	39.8	40.9
20th sheet	39.5	41.0
21th sheet	40.0	40.9
22th sheet	39.0	41.0
23th sheet	39.2	41.0
24th sheet	39.2	41.0
25th sheet	39.9	41.0
26th sheet	26.6	33.3

Vertical dimensions	31.4	32.6
---------------------	------	------

Comparison of dimensions (cm) of paintings before and after treatment

	Fourth scroll Horizontal dimensions	
	Before Treatment	After Treatment
1 st sheet	39.2	39.9
2 nd sheet	40.1	40.7
3 rd sheet	40.2	40.8
4 th sheet	40.1	40.7
5 th sheet	40.0	40.8
6 th sheet	40.1	40.9
7 th sheet	40.1	40.7
8 th sheet	39.9	40.6
9 th sheet	40.0	40.4
10th sheet	39.9	40.9
11th sheet	39.9	40.9
12th sheet	40.0	40.7
13th sheet	39.9	40.6
14th sheet	40.2	40.8
15th sheet	39.8	40.6
16th sheet	39.9	40.9
17th sheet	40.1	40.7
18th sheet	40.2	41.0
19th sheet	39.8	40.7
20th sheet	40.0	40.6

Vertical dimensions	31.4	32.6
---------------------	------	------

	Fifth scroll Horizontal dimensions	
	Before Treatment	After Treatment
1 st sheet	27.0	27.5
2 nd sheet	40.1	40.9
3 rd sheet	40.1	40.8
4 th sheet	40.3	41.0
5 th sheet	40.1	41.0
6 th sheet	40.3	40.9
7 th sheet	40.2	41.0
8 th sheet	40.2	41.1
9 th sheet	40.4	41.0
10th sheet	40.5	40.9
11th sheet	40.0	40.9
12th sheet	40.5	41.0
13th sheet	40.5	41.0
14th sheet	40.1	41.0
15th sheet	40.0	40.9
16th sheet	39.9	40.9
17th sheet	39.8	41.0
18th sheet	40.1	41.0
19th sheet	40.0	41.0
20th sheet	40.1	40.9
21th sheet	39.9	40.8
22th sheet	40.4	40.8
23th sheet	40.4	40.8
24th sheet	40.2	41.0
25th sheet	40.1	41.0
26th sheet	40.3	41.2
27th sheet	39.6	40.4

Vertical dimensions	31.5	32.6
---------------------	------	------

	Sixth scroll Horizontal dimensions	
	Before Treatment	After Treatment
1 st sheet	27.4	28.1
2 nd sheet	39.7	41.1
3 rd sheet	39.4	40.8
4 th sheet	39.5	40.7
5 th sheet	40.0	40.7
6 th sheet	39.9	40.8
7 th sheet	39.6	40.7
8 th sheet	39.4	40.7
9 th sheet	39.9	40.7
10th sheet	39.8	40.7
11th sheet	39.9	41.0
12th sheet	39.9	40.9
13th sheet	39.8	40.9
14th sheet	18.9	20.4
15th sheet	9.9	10.2
16th sheet	39.9	40.9
17th sheet	39.9	40.9
18th sheet	39.9	40.9
19th sheet	40.0	40.9
20th sheet	40.0	41.0
21th sheet	39.9	40.9
22th sheet	38.8	40.9
23th sheet	39.7	41.0
24th sheet	39.9	41.0
25th sheet	39.4	40.6
26th sheet	39.9	40.9
27th sheet	38.8	40.5
28th sheet	38.8	40.7
29th sheet	39.5	40.9
30th sheet	18.3	25.9

Vertical dimensions	31.0	32.6
---------------------	------	------

substantial support. However, in order to avoid adding too much extra thickness, very thin *Mino* paper was used.

To ensure that the scrolls remain flexible after treatment, three layers of lining paper were added using very thin *Mino* paper and *Misu* paper.

Because pigment had been applied to some areas along the paper joints, it was decided that the painted portions would be left as is (except for areas where the paint had lifted), and only the paper joints in areas with text would be separated.

A solution of 2% rabbit glue was applied over the entire face of the scroll, and once more in specific areas, to prevent the paint from peeling. Areas in which the paint layer has cracked or thinned were to be fixed with a mixture of seaweed glue and rabbit skin glue solution before taking photographs. Flakes of pigment found on the old lining papers were found to be paint that had flaked off from the surface of the paintings, and therefore were placed back onto the paintings.

Paper was to be added to the top and bottom edges of the scrolls for protection and to correct the skewing of the scrolls. Since this would add vertical length to the scrolls, new covers and end papers were to be used.

## 2. Treatment specifications

- Insert a mixture of seaweed glue and animal skin glue to areas where the paint is cracked or thinned and is in danger of flaking off.
- In addition to taking the standard photographs, also take photomicrographs of pigment, radiographs of the main painting, and infrared photographs.
- To confirm that the colors of the pigments before and after the treatment remain unchanged, measure the reflectance of the pigments before treatment using a spectroscopic colorimeter. Report the measurement results to the director.
- Examine the scrolls to determine their measurements and damaged areas, and record the findings.
- Examine changes in the quality of the pigments by testing areas with a small amount of water before treatment to determine whether the paint layer will be able to tolerate wet treatment.
- Treat and consolidate the paint layer with rabbit skin glue solution to prevent flaking. Since there are many areas in which the application of paint is thick, apply animal skin glue while using a suction table so that the consolidant will penetrate sufficiently.
- Since the starch paste has deteriorated overall, as a general rule, remove the old lining without use of moisture.
- Except for areas in which the pigment has lifted, do not separate the papers along the joints where there is pigment. Only separate joints in areas with text.
- Test and determine the quality and fiber content of the paper support. Based on the results, select mending paper and paper for the edges of the scroll.
- Add new paper to the top and bottom edges of the scrolls. Since the painted sheets are significantly skewed, the widths of the added paper strips are to be cut accordingly to make the scrolls parallel over their entire length.
- Use very thin *Mino* paper for the first lining, very thin *Misu* paper for the subsidiary lining, and very



thin *Mino* paper for the final backing of the scrolls.

- Reinforce vertical creases with reinforcement strips after attaching the subsidiary lining. Since the vertical creases are severe, make sure the reinforcement provides enough support by using two layers of *Mino* paper, one 1.5 mm in width and the other 3 mm in width.
- Tone the areas where the mending paper and paper edge strips have been applied.
- Use new cover material, end papers, roller knobs, and cords upon consultation with the director.
- Use new top and bottom rollers.
- Prepare new two-layer storage boxes with paulownia roller clamps for the inner boxes. Prepare new, black lacquered *daizashi* boxes for the outer boxes. Assemble the old wooden rollers, cover, lining papers, and other materials, and store them at the bottom of the *daizashi* boxes.
- Take photographs of the newly restored scrolls so they may be compared with before treatment photographs.
- Submit samples of the paper, silk, mounting material, cord, etc. used for treatment.

### 3. Treatment process

1. Photographs were taken before treatment for each scroll.
2. Lifted pigment was temporarily reattached using a mixture of seaweed glue and rabbit skin glue solution.
3. A diagram that mapped out the damaged areas was created so that the condition of the painting could be determined at a glance. In particular, the creases were recorded in detail.
4. End rollers and covers were removed.
5. The material used for joining the paintings was removed.
6. The colors on the paintings were measured using a spectroscopic colorimeter.
7. The condition of the pigments was recorded by taking photomicrographs.
8. The paper linings were removed without the use of moisture.
9. Rabbit skin glue solution was used to prevent the paint from flaking. The glue solution was applied while using a suction table so that the consolidant would penetrate quickly.
10. Shaped pieces of paper were applied to mend losses in the painting support. Paper was added to the top and bottom edges of the scrolls.
11. Very thin, *yasha*-dyed *Mino* paper was attached with wheat starch paste as the first lining of the painting.
12. Subsidiary lining was attached to the painting using very thin, un-dyed *Misu* paper and aged wheat starch paste.
13. Paper reinforcement strips made with very thin, 1.5 mm wide *Mino* paper were applied to the vertical creases in the painting.
14. After the reinforcement strips dried, additional thin *Mino* strips 3mm in width were applied for added strength.
15. Parts were assembled and the painting was joined up to a certain length.
16. Very thin, *yasha*-dyed *Mino* paper was attached with aged starch paste as the final overall backing.

17. The painting was attached and dried temporarily, face-up on a flat panel.
18. The mended areas and paper edge strips were toned.
19. The painting was attached and dried, face-down on a flat panel, for an extended period.
20. A new cover and end paper were made with new material.
21. New roller knobs, top and bottom rollers and cords were added to complete the scroll.
22. New two-layer storage box with a paulownia roller clamp, black lacquered *daizashi* box, and *habutae*-silk wrapping material were prepared and stored at the bottom of the box.
23. The old label pasted on the cover was removed, mended, lined on the back, and mounted on acid-free paper.
24. The old cover, rollers, back lining papers, and other materials were assembled and stored at the bottom of the black-lacquered *daizashi* box.
25. Photographs were taken after the treatment was completed.

#### 4. Materials and their usage at each process

	Name	Material	Method of use
Painting	First lining	<i>Mino</i> paper	Dyed with <i>yasha</i> , soaked in dye mordant, and rinsed with water Thickness: 0.05 mm
		Wheat starch paste	Water : wheat starch paste ratio = 19:10 pH 6-7
	Subsidiary lining	<i>Misu</i> paper	Thickness: 0.07 mm
		Aged wheat starch paste	Viscosity: 22.1 mPa.s pH 6-7 Water changed 5 times during ageing process for the paste.
	Mending paper	<i>Kōzo</i> paper	Dyed with <i>yasha</i> , soaked in dye mordant, and rinsed with water. Thickness: 0.19 mm
	Supplementary paper		
	Roller paper	Seaweed glue and wheat starch paste	Seaweed glue : wheat starch paste ratio = 1:1
	Final backing	<i>Mino</i> paper	Dyed with <i>yasha</i> , soaked in dye mordant, and rinsed with water Thickness: 0.05 mm
		Aged wheat starch paste	Viscosity: 20.2 mPa.s pH 6-7 Water changed 5 times
	Paper reinforcement strips	<i>Mino</i> paper	Dyed with <i>yasha</i> , soaked in dye mordant, and rinsed with water Thickness: 0.06 mm Width: 1.5 mm

		<i>Mino</i> paper	Dyed with <i>yasha</i> , soaked in dye mordant, and rinsed with water Thickness: 0.06 mm Width: 3 mm
		Wheat starch paste	Water : wheat starch paste ratio = 1:1 Viscosity: 2.0 Pa.s pH 6-7

Name	Material	Method of use
Material used for the cover	Gold brocade with <i>takara-zukushi</i> (treasure - filled) pattern on a yellow-green background	Dyed with <i>yasha</i> , soaked in dye mordant, and rinsed with water
End paper	Paper sprinkled with gold leaf	Gold powder was sprinkled onto <i>Mino</i> paper with <i>sanzenbon</i> animal glue.
Braided cord	Four - colored, grid - patterned, one - layered <i>kōrai</i> braid	

## 5. Materials used

Material	Classification	Manufacturer/distributor	
Paper	<i>Mino</i> paper	Mino, Gifu Prefecture	
	<i>Misu</i> paper	Yoshino, Nara Prefecture	
Paste	Wheat starch	Made by Nagata Sangyo, Corp.	700g of wheat starch is dissolved in 2 liters of water and cooked over high heat for 20 minutes. It is cooled overnight before use.
	Aged paste	Homemade	Cooked wheat starch paste is poured in a jar and stored underground. Made in 1995.
	Seaweed glue	Made in South Korea	Salt is removed from 7g of <i>funori</i> seaweed by rinsing with water. 700 cc of water is added and it is cooked for 15 minutes until the seaweed dissolves. It is filtered with a double layer of gauze and cooled.
Pigment used for inpainting	<i>Aibō</i> (indigo sticks), <i>yōkō</i> (carmines), <i>tōō</i> (gamboge)	Kyoto	

Pigment used for inpainting	<i>Sumi</i> ink	Nara	
Dye	<i>Yasha</i>	Kyoto	
Gold brocade		Kyoto	Gold brocadewith <i>takarazukushi</i> (treasure-filled) pattern on a yellow-green background
Wooden rollers		Kyoto	Diameter of rollers: 18 mm
Roller knobs		Kyoto	Cylindrically-cut, black lacquered knobs They were made in the same shape as those originally used.
Cords		Made by Dōmyō in Tokyo	Four-colored, grid-patterned, one-layer <i>kōrai</i> braid
Box		Made by Maeda in Kyoto	Two-layer storage box with paulownia roller clamp

#### V. Additional notes

1. New roller knobs and wooden rollers were prepared.
2. Writing was found on the back side of the first painting (first, second, and fourth scroll).
3. Paper quality of the painting

A minimal amount of fiber was taken from two locations on the back of the paintings and analyzed.

First scroll, 9th sheet: Water is absorbed very slowly. Paper was made by adding a large amount of starch to retted *kōzo*.

Third scroll, 17th sheet: Water is absorbed quickly. Paper was made by adding a small amount of calcium carbonate and a large quantity of starch to coarse *kōzo* fiber. The retted *kōzo* fiber was stained with C-stain solution and yielded a light grey color. Fiber distribution is poor in both papers.

#### Data on paper quality

	2nd scroll, 1st sheet	4th scroll, 15th sheet	Mending paper
Measurements (cm)	Height 31.2 Width 40.1	Height 31.6 Width 40.5	Height 32.5 Width 47.5
Thickness (cm)	0.026	0.027	0.023
Weight (g)	13.19	16.69	15.20
Density (g/cm <sup>3</sup> )	0.405	0.483	0.428
Weave (cm)	4.5	4.5	Unknown
Thread weight (no. of threads per <i>sun</i> (3.03 cm))	13 threads / 3.03 cm	13 threads / 3.03 cm	Unknown

4. Reinforcement strips

In order to flatten the strong vertical creases, strips of thick and thin *Mino* paper were attached in layers on the back as reinforcement.

5. Flakes of pigment from the painting were found attached to the back lining.

6. Labels from the old covers

The labels were mended, lined, and mounted on acid-free paper.

(The color measurement charts for before and after treatment have been omitted for this report.)

Translated by Amy McCaleb (Urban Connections), edited by Yasuhiro Oka and Regina Belard.

## 作品解説

成城大学  
相澤正彦

本作品は、これまで存在は知られていたものの、ほぼ未紹介に近い承久本系統の天神緑起絵巻である。構成は全六巻四十一段からなる。欠失部分のない完本として貴重であるとともに、奥書や紙背書付から、元々は山城国乙訓郡の某寺所蔵品であったこと、天文七年（1538）の制作であること、詞書が当郡の古刹海印寺の杲雄と能勢頼直の執筆であることなどが判明し、当時期の基準作としてもその意義は自ずと高まるものであろう。

構成は以下の通りである。

### 第一巻

第一段：道真化現／第二段：年少詩作／第三段：大戒論序／第四段：良香郎弓遊／第五段：吉祥院五十賀／第六段：一事中十首詩作／第七段：家集天覧

### 第二巻

第一段：朱雀院行幸政務委任／第二段：時平讒言／第三段：奏上法皇／第四段：紅梅殿別離・西下陸路／第五段：西下海路／第六段：恩賜御衣

### 第三巻

第一段：天拜山／第二段：薨去安楽寺墓所／第三段：榴榴天神／第四段：清涼殿霹靂時平抜刀／第五段：尊意鴨川渡水／第六段：時平薨去／第七段：公忠蘇生奏上／第八段：菅公清涼殿化現

### 第四巻

第一段：清涼殿落雷／第二段：延喜帝落飾崩御／第三段：日藏上人巡歴1（岩屋出立）／第四段：日藏上人巡歴2（閻魔王宮）／第五段：日藏上人巡歴3（鉄磴苦所）／第六段：日藏奏上／第七段：朱雀帝法華経供養

### 第五巻

第一段：綾子託宣／第二段：太郎丸託宣・右近馬場相議／第三段：社殿建立・九条殿信心事／第四段：北野宮繁盛／第五段：内裏炎上／第六段：内裏造営虫喰和歌／第七段：官位追贈

### 第六巻

第一段：待賢門院女房／第二段：世尊寺阿闍梨仁俊／第三段：仁和寺阿闍梨事／第四段：八月祭／第五段：仁和寺西念／第六段：銅細工娘・銅細工娘北野参籠／第七段：銅細工娘受福

以上のように、本作品の段落構成には独自の部分が各所に見られる。一つは通例、絵画化される著名な場面が無いこと（送後集長谷雄）、通例二段構成に分かれる場面を一段分としてまとめること（紅梅殿別離・西下陸路、太郎丸託宣・右近馬場相議）、通例の順次を逸脱した配置が見られること（第六巻の八月祭が中程に配される）などである。そもそも当絵巻が連なる承久本系統は、早い時期から構成面において多様な展開を見せ、その上、室町期になると靈験・利生譚部分に幾つかの説話が新たに付け加えられ、そ

の段数は諸系中、最も多くを数えるようになる。本品も例外ではなく、段数は最多の部類に入り、構成についても同種の類本は今のところ見あたらない。

詞章においても承久本とは異なる章句が各所に見られ、段落構成と同様の独自性が見られる。また詞書執筆者は、第六巻末の紙背書付から、大願主である蔵福寺の長主座の依頼により海印寺寂照院の阿闍梨杲雄が筆したこと、但し第四巻のみは能勢頼直の筆であることが判明する。第四巻は確かに異筆であり、この内容を裏付ける。いきおい詞書の書風は平俗で、貴紳の染筆にみるような格調に欠けることは否めない。

画風は全巻に亘り、同種の筆致で統一されている。それは明るい色調と温雅で柔らかな人物描写を基調とし、室町時代特有の民間工房作の持つ平俗性をよく示している。特筆すべきは、樹岩の形態・描法に、狩野元信の絵巻に見られる、初期狩野派の大和絵様式がかいま見えることである。それを理由に筆者を狩野派とするには、本絵巻の持つ画風の平俗性からして無理であろうが、天文七年当時における、元信系大和絵様式の伝播流布の状況を窺わせる点で意義があろう。

第六巻末尾には奥書がふされ、本品が山城国乙訓郡開田庄の薬水の湧き出る端にある寺の什宝で、古本が破損したため天文七年十一月二十五日に新調した、という旨が牛小路山城守宗綱によってしたためられている。これにあたる寺院を探ることが今後の課題の一つだが、とまれ開田庄には天満宮一社があるほか天神山や天神塚などの旧跡もある。また近在の長岡天満宮の地は元々は道真の領地で、見返り天神の故事を伝えることから、当天神縁起絵巻が制作、享受されるにふさわしい風土であったことは言うまでもない。

## Description of Artwork

Masahiko Aizawa  
Seijo University

These are *Tenjin Engi* (the legend of the *Kitano Tenjin* (*Daijō-itokuten*, *Sugawara no Michizane*)) scrolls similar to the *Jōkyū* version (13<sup>th</sup> century, owned by Kitano Tenmangū Shrine). While the existence of these scrolls had been known, they had gone almost completely unseen.

The set is made up of 41 chapters in six scrolls. It is a valuable set, as it is complete with no missing parts. At the same time, it was determined from the inscriptions that these scrolls were originally stored at a temple in Otokuni District of the Yamashiro Province (around Nagaoka-kyo city, Kyoto); that they were created in 1538, and that the texts were written by Kōyū of the historical Kaiin-ji Temple and Nose Yorinao. These findings should naturally increase the significance of these scrolls as the standard work of the time.

Its content is as follows:

### First scroll

Chapter 1: *Michizane Kegen* / 2: *Nenshō Shisaku* / 3: *Daikaironjo* / 4: *Yoshikatei Yumiasobi* / 5: *Kisshō-in Isoka* / 6: *Ichiji-chū Jussū Shisaku* / 7: *Kashū Tenran*

### Second scroll

Chapter 1: *Suzakuin Gyōkō-seimu Inin* / 2: *Jiheī Zangen* / 3: *Sōjō Hō-ō* / 4: *Kōbaiden Betsuri, Saika Rikuro* / 5: *Saika Kairo* / 6: *Onshi Onzo*

### Third scroll

Chapter 1: *Tenpaizan* / 2: *Kōkyō Anrakuji Bosho* / 3: *Zakuro Tenjin* / 4: *Seiryōden Hekireki Jihei Battō* / 5: *Son-i Kamogawa Tosui* / 6: *Jiheī Kōkyō* / 7: *Kimitada Sosei Sōjō* / 8: *Kankō Seiryōden Kegen*

### Fourth scroll

Chapter 1: *Seiryōden Rakurai* / 2: *Engitei Rakushoku Hōgyō* / 3: *Nichizō-shōnin Junreki 1 (Iwaya Shuttatsu)* / 4: *Nichizō-shōnin Junreki 2 (Enma Ōkyū)* / 5: *Nichizō-shōnin Junreki 3 (Tetsugai Kusho)* / 6: *Nichizō Sōjō no Koto* / 7: *Suzakutei Hokkekyō Kuyō*

### Fifth Scroll

Chapter 1: *Ayako Takusen* / 2: *Tarōmaru Takusen, Ukon no Baba Sōgi* / 3: *Shaden Konryū, Kujōdono*



*Shinjin no Koto* / 4: *Kitanogū Hanjō* / 5: *Dairi Enjō* / 6: *Dairi Zōei Mushūkuī Waka* / 7: *Kan-i Tsuizō*

#### Sixth scroll

Chapter 1: *Taikenmon-in Nyōbo* / 2: *Sesonji Ajari Ninshun* / 3: *Ninnaji Ajari no Koto* / 4: *Hachigatsu-sai* / 5: *Ninnaji Sainen* / 6: *Akagane Zaiku no Musume, Akagane Zaiku no Musume Kitano Sanrō* / 7: *Akagane Zaiku no Musume Jufuku*

Unique characteristics can be found in various parts of the above chapters of the scrolls. For example, there are no notable scenes to be depicted as a painting (*Sōgoshu Haseo*); there are scenes which normally would be split into two sections that are compiled into one chapter (*Kōbaiden Betsuri, Saika Rikuro; Tarōmaru Takusen, Ukon no Baba Sōgi*); and the arrangement of some of the stories is out of the normal order (*Hachigatsu-sai* (August festival) of the sixth scroll is placed midway through the scroll). The scrolls that succeeded the *Jōkyū* version already tended to have a varied style of story development from early on. In the Muromachi period, new narratives were added to the stories of *Reiken* and *Rishōtan*. As a result, these kinds of works have more chapters than any others. This is true for this set of scrolls as well. It contains more chapters than most, and no other examples of such an arrangement have been found so far.

Regarding the text, many words that differ from the *Jōkyū* version's are found throughout the set, and they illustrate features of the historical period that are in keeping with the structure of the scrolls. Inscription on the back of the painting at the end of the sixth scroll tells us that the text was written by *Ajari* (monk) Kōyū of Jakushō-in of the Kaiin-ji Temple, by the request of the *Chō-shūso* of Zōfuku-ji Temple, with the exception of the fourth scroll, which was written by Nose Norinao. This is supported by the fact that the writing of the fourth scroll does have a unique style to it. It is undeniable that the style of the writing is plain and lacks the elegance normally seen in calligraphy written by a noble.

The style of the paintings is consistent throughout the entire set of scrolls. The images contain bright colors and elegant and gentle figures throughout, effectively exhibiting the commonness characteristic of paintings created at folk art studios in the Muromachi period. It is particularly noteworthy that a glimpse of the *Yamato-e* style characteristic of the early period of the Kanō school can be seen in the way the shapes of the trees and rocks are drawn. While the commonness of the painting style of these scrolls perhaps makes it impossible to classify the artist as a member of the Kanō school, these paintings are significant in that they offer the viewer an idea of the way the Kanō Motonobu's *Yamato-e* style was spread around 1538.

An inscription was found on the back of the sixth scroll, in which Ushinokōji Yamashiro-no-Kami Munetsuna wrote that the scroll is a treasured article of a temple that stands beside a spring that produces medicinal water on Kaida-shō manor in Otokuni District of the Yamashiro Province, and that because the old version was damaged this new one was created on November 25, 1538. While the

temple in question is yet to be found, a Tenmangū Shrine in fact currently stands on the area, and there are also remains of other sites such as the *Tenjin-yama* and *Tenjin-zuka*. In addition, it goes without saying that because the site of the nearby Nagaoka Tenmangū Shrine is within the territory that belonged to Michizane from which the legend of the *Mikaeri Tenjin* originated, it is most suitable for a place for these *Tenjin Engi* scrolls to have been created and enjoyed.

Translated by Amy McCaleb (Urban Connections).